



理学部化学科の先生から、化学科でも製薬、または創薬の勉強ができるという話を聞きました。大阪大学理学部でも、そういった勉強ができますか？
また理学部のある大学なら、どの大学でもできますか？やはり薬学部のほうがいいのでしょうか？



製薬や創薬には化学の基礎知識が不可欠です。
その意味では、大阪大学理学部化学科では、製薬に関係する化学を学ぶことができます。

化学の中でも、特に有機化学や分析化学は有機化合物である薬を合成したり、分析したりするときには必ず必要になります。

また、四年生や大学院生になると研究室に入って化学の実験を行うことになります。

薬そのものを合成する機会は少ないと思いますが、有機化合物の合成に必要な実験を行う機会も多いので製薬研究に必要な知識や技術を習得することができます。(他大学の理学部化学科でも、同様な科目は学べるはずです。)

理学部と薬学部のどちらが良いかは、中々難しい問題です。現在使われている薬のことならば薬学部の方が詳しく学べるでしょうが、新しい薬を開発するときなどには理学部で学べる化学の基礎が重要になるのではないかと思います。

実際に、大阪大学理学部化学科の卒業生で製薬会社に就職した人も多くいます。